

お客さま本位の業務運営に関する取組方針

J Aグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、2017 年 3 月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、「みなさまから信頼される JA、地域から必要とされる JA、社会に誇れる JA」を基本姿勢とし、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成と共済事業として「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じた豊かな生活づくりに貢献するため、以下の取組方針を制定いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客さま本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

注) 共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（以下、J A共済連）が、共同で事業運営しております。J A共済連の「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針等」は、J A共済連のホームページをご参照ください。【原則 6（注 6、7）】

1. お客さまへの最適な金融商品・共済仕組み・サービスの提供

（1）お客さまに提供する金融商品の選定においては、①長期投資を前提とした投資信託であること。②手数料が良心的な水準であること。③過去の運用実績が相対的に良好であること。④資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと。⑤運用体制について、外部機関の評価を得ていること。以上 5 点を踏まえ、特定の投資運用会社の商品に偏ることなく、金融商品を提供する投資運用会社のプロダクトガバナンスの取組や社会情勢等を把握したうえで選定します。また、J Aバンク全体として、金融商品を購入したお客さまの属性および販売状況に関する情報等を投資運用会社に提供するなど情報連携を行い、投資運用会社における販売実態等に関する検証結果の提供を踏まえ、必要に応じて提案活動の改善や見直しをおこない、製販全体でお客さまの最善の利益の実現を図ります。なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。【原則 2 本文および（注）、原則 3（注）、原則 6 本文および（注 2、3、6、7）、補充原則 1～5 本文および（注）】

（2）共済仕組みとサービスについて、当組合はお客様一人ひとりのニーズにあった保障で、ご自身やご家族の暮らしをサポートするとともに、さまざまなリスクに備えられるよう最良・最適な「ひと・いえ・くるま・農業」の共済仕組みとサービスを提供します。なお、当組合は市場リスクを有する共済仕組み（外貨建て共済等）の提供は行っておりません。【原則 2 本文および（注）、原則 3（注）、原則 6 本文および（注 2、3）、補充原則 1～5 本文および（注）】

2. お客さま本位のご提案と情報提供

(1) 信用の事業活動

- ① お客さまとの対話を重視し、お客さまの知識、経験、財産の状況及び目的に合った適切な商品・サービスをご提案し、属性・適合性を判断したうえで販売します。【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、3、4、5)】
- ② JAバンク資産運用スタイル診断シートにより、お客さまのリスク許容度やニーズを十分に把握の上、JAバンクセレクトファンドマップを活用してお客さまにふさわしい商品をご案内します。【原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、3、4、5)】
- ③ 商品販売にあたっては、販売手数料の多寡に関わらず、お客さまのニーズに合った商品の提供を行います。【原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】
- ④ 商品販売後においては、月刊マーケットレターやマンスリーレポート、臨時市場レポート等による定期的な情報提供、アフターフォローを行います。【原則6本文および(注1、2、4、5)】
- ⑤ ご高齢のお客さまに投資勧誘を行う場合は、適合性の原則に基づいて、より慎重な対応を行います。【原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

(2) 共済の事業活動

- ① 組合員・ご利用者の皆さま一人ひとりの加入目的やライフプランに応じた最適な保障・サービスを提供します。【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】
- ② 保障の加入にあたっては、「農業協同組合法」「消費者契約法」「金融サービスの提供に関する法律」などの法令にもとづき、ご契約に関する重要な事項をご理解いただくために、重要事項説明(契約概要・注意喚起事項)を行っております。【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】
- ③ アフターフォローの実現に向けて、組合員・ご利用者の皆さまに感謝の気持ちをお伝えするとともに、請求漏れの防止や、加入内容の確認・保障点検を取り入れ、地域に密着した活動を展開しています。【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】
- ④ 特にご高齢の組合員・利用者の皆さまには、より丁寧な説明と加入内容の確認を行い、ご契約時にはご家族の同席をいただけるよう、ご家族も含め安心と満足を提供できるような対応を行っております。【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

⑤ なお、保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまにご負担いただく手数料等はございません。【原則 2 本文および（注）、原則 4、原則 5 本文および（注 1～5）、原則 6 本文および（注 1、2、4、5）】

3. 利益相反の適切な管理

- （1）商品の選定や情報提供にあたり、金融商品の販売・推奨や共済仕組みの提案・契約等において、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、農業協同組合法、金融商品取引法および関係するガイドラインに基づき、適切に管理します。【原則 3 本文および（注）】
- （2）「利益相反管理方針」に基づき、利益相反管理統括部署を設置し、一元的に対応できる体制を整備しています。【原則 3 本文および（注）】

4. お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- （1）信用担当者については、研修システム（e-ラーニング）の受講や JA バンク兵庫アカデミーの研修等により、高度な専門性を有し、誠実・公正に業務を行うことができる人材を育成しています。【原則 2 本文および（注）、原則 6 本文および（注 5）、原則 7 本文および（注）】
- （2）投資信託販売店においては、コンサルティングアドバイザーを配置し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築しています。【原則 2 本文および（注）、原則 6 本文および（注 5）、原則 7 本文および（注）】
- （3）共済担当者については、保障のご提案やアドバイスを行う「渉外担当者」と支所窓口には「窓口担当者」を配置し、組合員・利用者の皆さまの多様化するニーズにお応えできるよう人材育成支援システム（CAREERSHIP）を活用し、より専門的な知識を習得できるよう育成に取り組んでいます。また、組合員・ご利用者の皆さまからいただいた「声（ご相談、ご要望、苦情など）」を誠実に受け止め、業務改善に取り組むと共に、組合員・利用者の皆さまに対して、最適な保障とサービスが提供できるよう、継続的に共済担当者育成を構築できるよう取り組んでいます。【原則 2 本文および（注）、原則 6（注 5）、原則 7 本文および（注）】

（※）上記の原則および注番号は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」（2024 年 9 月改訂）との対応を示しています。

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- J Aグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。
- 当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、[「みなさまから信頼されるJA、地域から必要とされるJA、社会に誇れるJA」を基本姿勢とし、お客さまの皆さまの安定的な資産形成と共済事業として「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じた豊かな生活づくりに貢献する] ための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（J A 共済連）が、
共同で事業運営しております。原則 6（注 6、7）

加古川市南農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最適な金融商品・共済仕組み・サービスの提供①

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、投資運用会社のプロダクトガバナンスの実効性が確保されていることを含め、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客さまの皆さまのニーズに合った商品を取入れます。また、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。
- なお、お客さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2025年3月末時点）＞

＜商品選定の考え方＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：4)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	1 (前年度末：1)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

(例) 商品選定基準等を記載する※
(例) セレクトファンドマップに記載されている
コアサテライト戦略等の画像を引用し説明する等

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

1 お客さまへの最適な金融商品・共済仕組み・サービスの提供②

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3)、補充原則1～5本文および(注)】

- 当組合はお客様一人ひとりのニーズにあった保障で、ご自身やご家族の暮らしをサポートするとともに、さまざまなリスクに備えられるよう最良・最適な「ひと・いえ・くるま・農業」の共済仕組みとサービスを提供しております。
- 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- なお、共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、お客さまの声や実際に販売した顧客情報等について相互に連携しております。

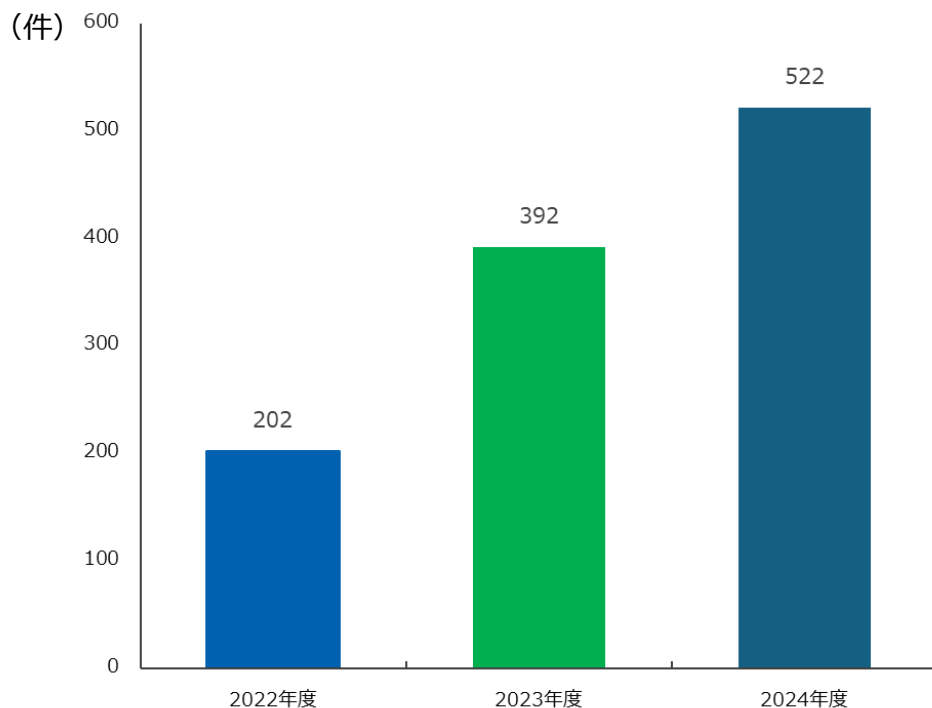
I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供①

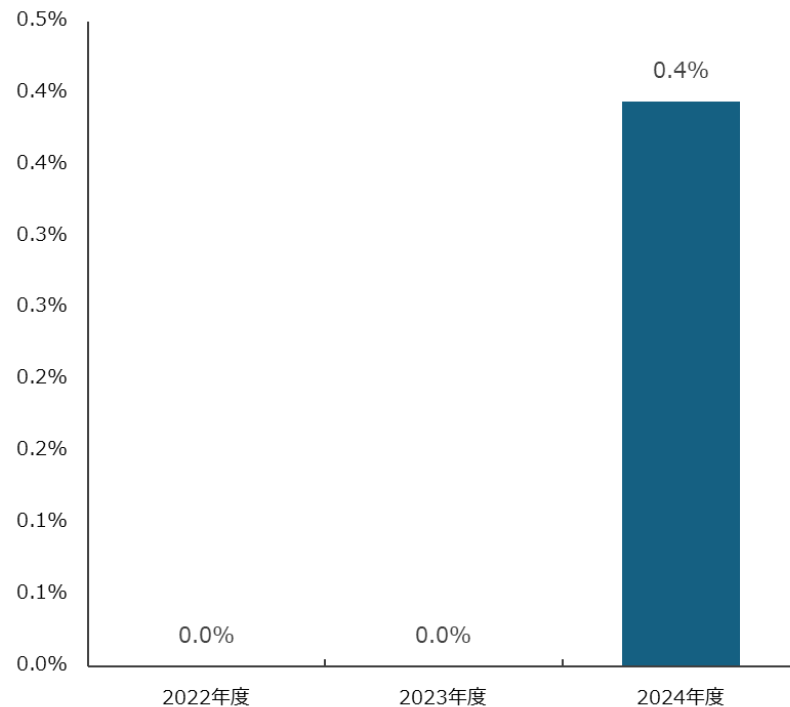
【原則 2 本文および（注）、原則 5 本文および（注 1 ～ 5）、
原則 6 本文および（注 1 ～ 5）】

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率は微増しました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



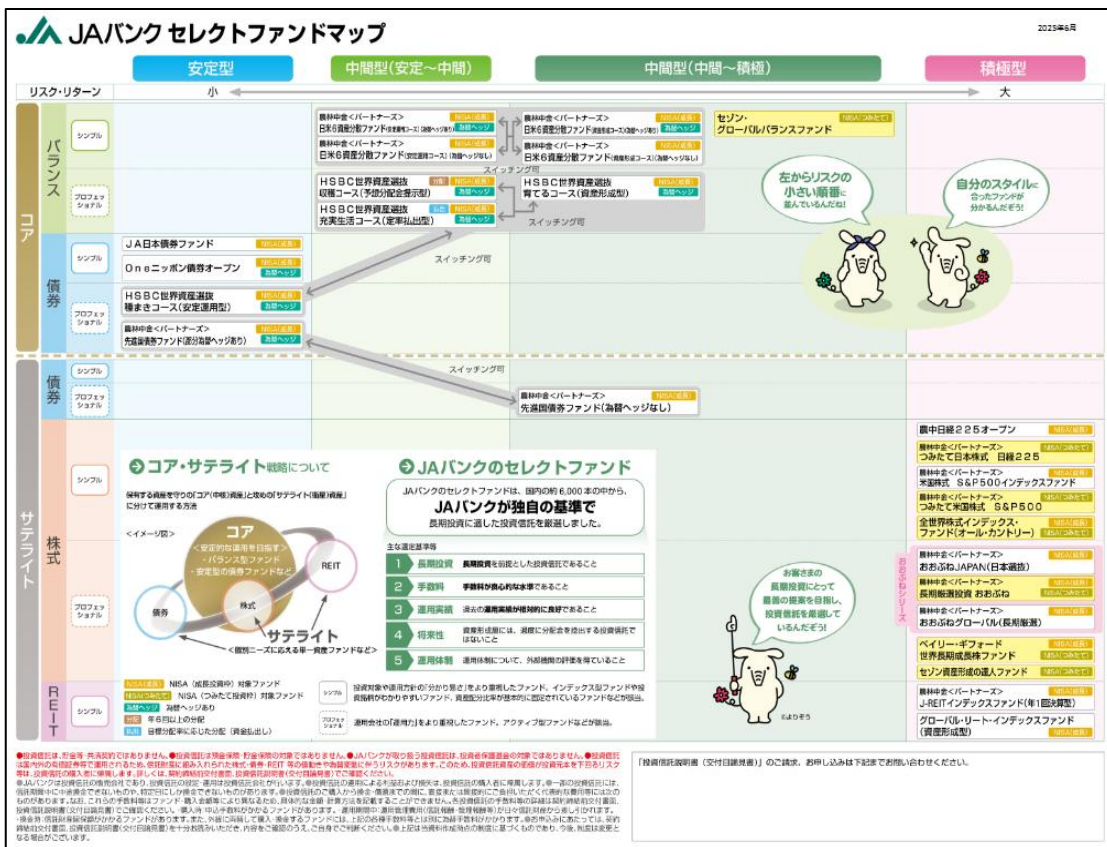
I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供②

(1) 信用の事業活動

【原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1～5)】

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、JAバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。
- お客さまの属性・適合性を判断したうえで、適切に販売しております。



I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供③

(2) 共済の事業活動

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

共済仕組み・サービスのご提案

- 共済仕組み・サービスの提案にあたっては、「農業協同組合法」「消費者契約法」「金融サービスの提供に関する法律」などの法令にもとづき、ご契約に関する重要な事項をご理解いただくために、重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。
- 組合員・ご利用者の皆さま一人ひとりの加入目的やライフプランに応じた最適な保障・サービスを提案しております。

高齢者対応

- ご高齢の組合員・利用者の方については、ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時にはより丁寧な説明と加入内容の確認を行い、ご契約時にはご家族の同席をいただけるよう、ご家族も含め安心と満足を提供できるような対応を行っております。

各種手続きとアフターフォローの実施

- 各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまに分かりやすくご説明しております。
- ご加入後も、組合員・ご利用者の皆さまに感謝の気持ちをお伝えするとともに、請求漏れの防止や、加入内容の確認・保障点検を取り入れ、地域に密着した活動を実施しております。
- 保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等にご負担いただいております。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および（注）】

- ・ J Aバンクでは、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。

4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

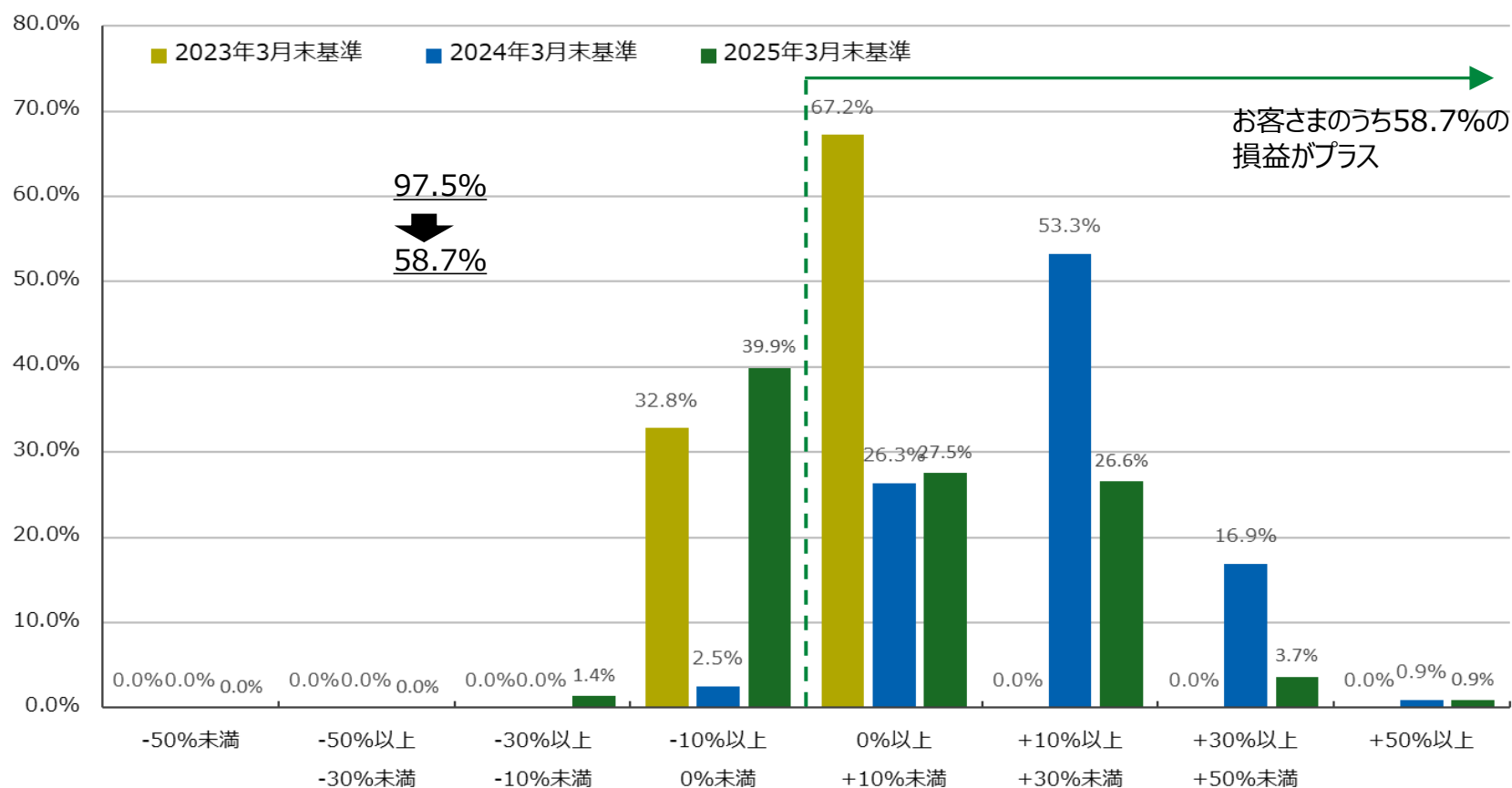
【原則2本文および（注）、
原則6本文および（注5）、
原則7本文および（注）】

- ・ J Aバンクでは、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、各種研修や勉強会の実施、資格の取得を推進しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

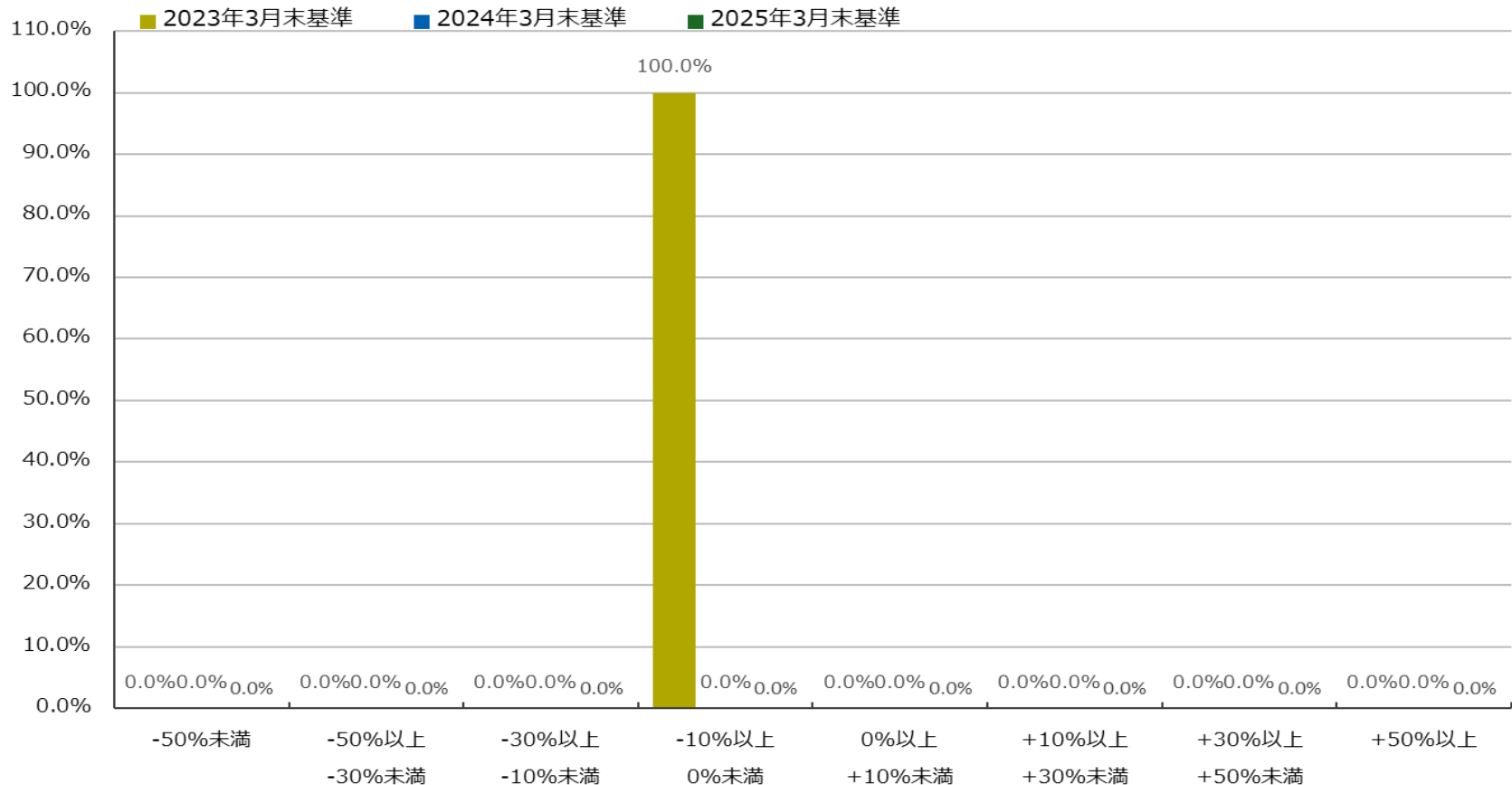
- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の58.7%のお客さまの損益がプラスとなりました。



Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（ファンドラップ）

- 2022年4月より取扱いを開始しておりますJAバンク資産運用サービス（ファンドラップ）は、2025年3月末時点で契約者はありません。
- 継続的なアフターフォローにより、お客さまの目標達成に向けて丁寧な説明、必要なサポートを実施します。

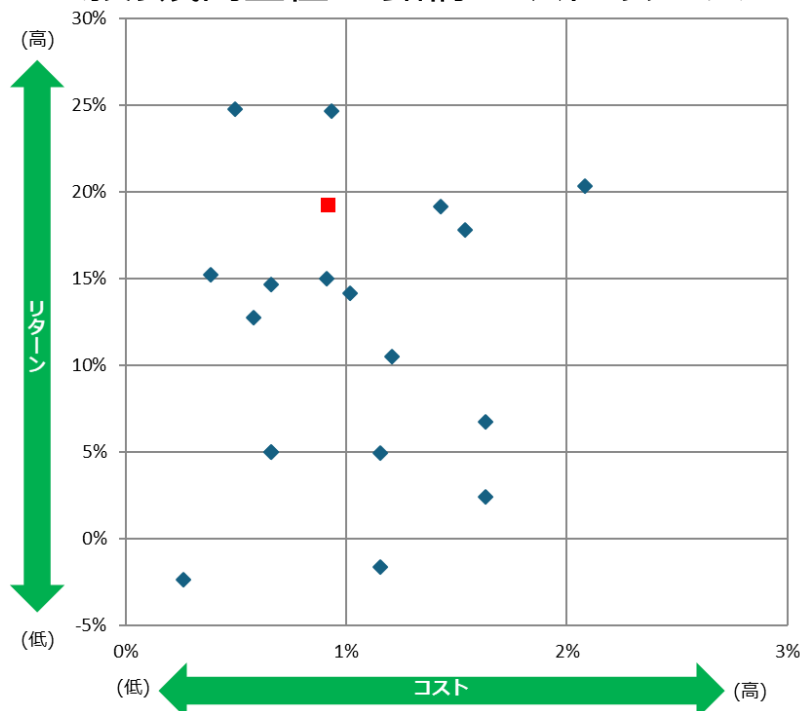


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

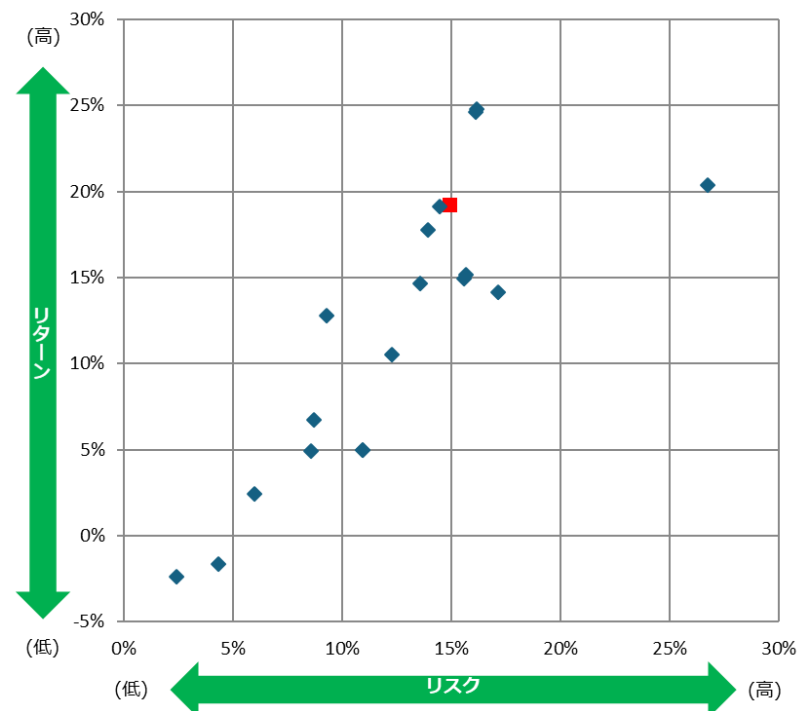
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2025年3月末)

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.92%、平均リスク14.93%に対して、平均リターンは19.22%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



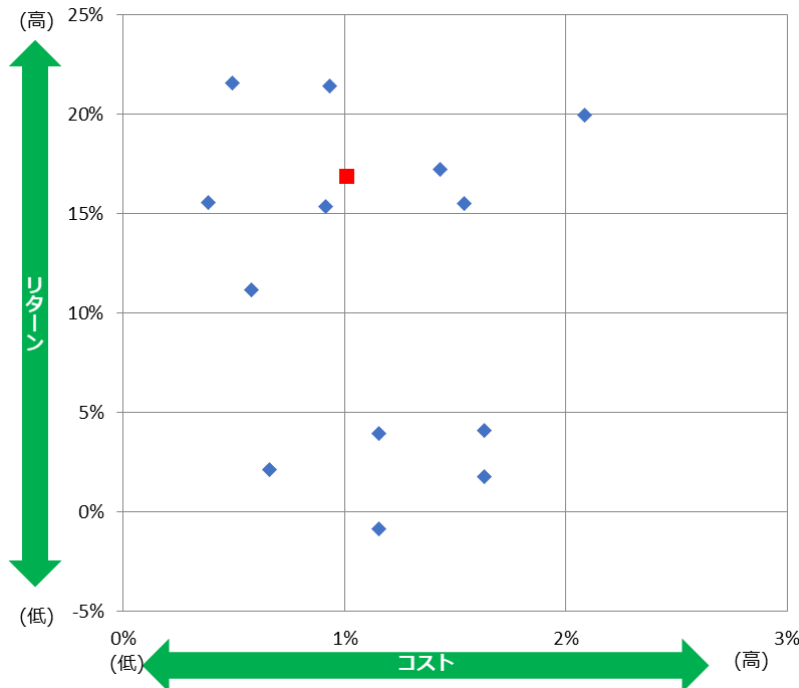
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

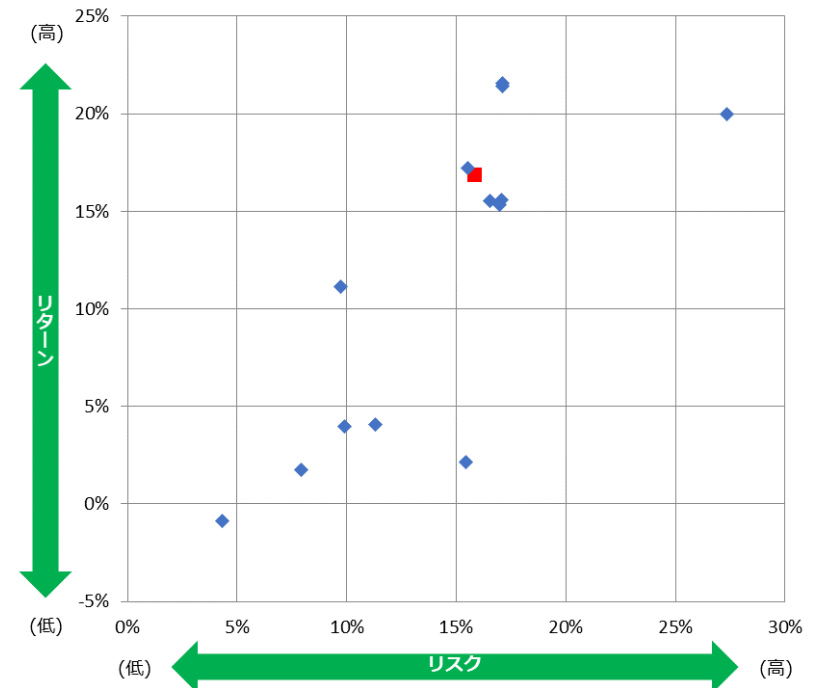
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.01%、平均リスク15.82%に対して、平均リターンは16.88%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



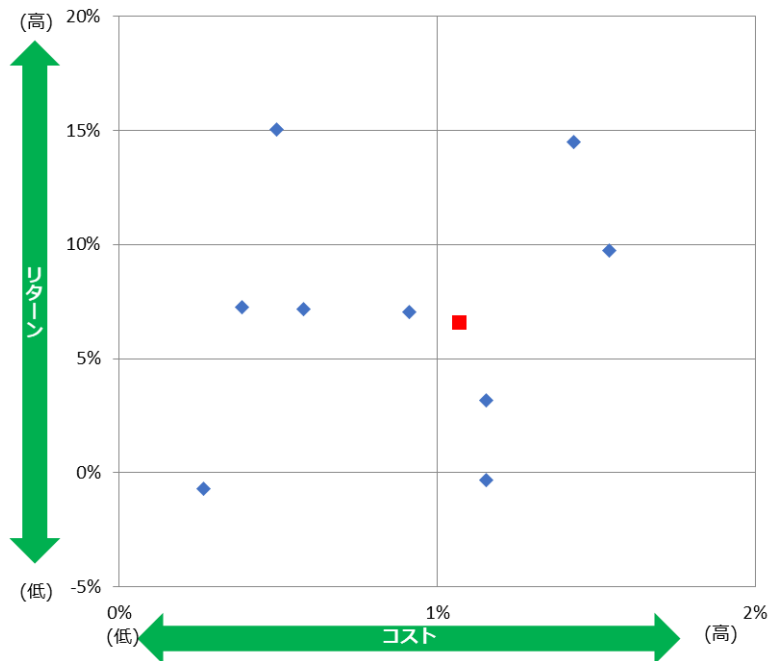
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

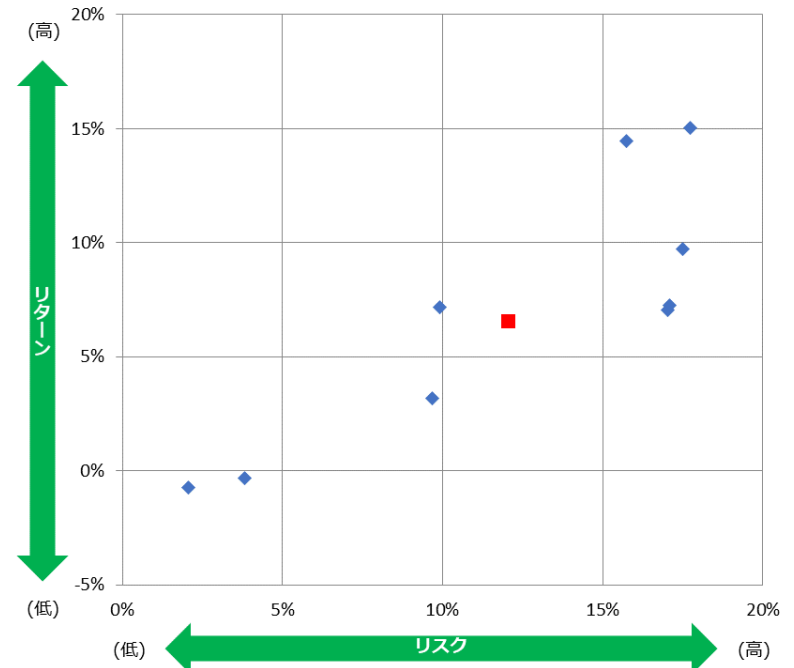
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.07%、平均リスク12.06%に対して、平均リターンは6.57%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
2	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
3	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
5	おおぶね J A P A N (日本選抜)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	10.52%	12.27%	1.21%
6	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
7	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
8	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
9	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
10	バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
11	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.66%	4.34%	1.16%
12	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
13	J - R E I T インデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.99%	10.96%	0.66%
14	HSBC世界資産選抜 充実生活コース(定率払出型)人生100年時代	HSBCアセットマネジメント(株)	2.42%	5.98%	1.63%
15	グローバル・リート・インデックスファンド(資産形成型)世界のやどかり	大和アセットマネジメント(株)	14.15%	17.14%	1.02%
16	HSBC世界資産選抜 育てるJ-1(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
17	J - R E I T インデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.00%	10.96%	0.66%
18	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.36%	2.41%	0.26%
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		19.22%	14.93%	0.92%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は18本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
2	つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
3	日米6資産分散ファンド [※] (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
5	日米6資産分散ファンド [※] (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
6	バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
9	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
10	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
11	HSBC世界資産選抜 育てるJ-λ(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
12	J-REITインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.14%	15.44%	0.66%
13	HSBC世界資産選抜 収穫J-λ(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		16.88%	15.82%	1.01%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は13本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド [※] (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
2	日米6資産分散ファンド [※] (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
5	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
7	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
8	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.72%	2.06%	0.26%
9	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.57%	12.06%	1.07%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は9本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。